

「授業づくり」全体研修会

研修部
2004.5.19.

1. ねらい

授業者が日頃の授業への取り組み、悩みを話し合っ情報交換をする。
授業モデルを見て、授業づくりについて共通の話題でディスカッションする。
ワークショップ的な研修形態を体験し、日々の授業にフィードバックする。

2. 日時

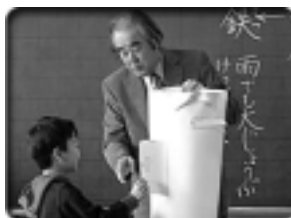
6月2日(水) 15時~16時45分 (全体研修予定日に位置づけ済みの日です)

3. セッション計画

第一セッション ... 日頃の授業作りについての
グループディスカッション



第二セッション ... モデル授業視聴とグループディスカッション
全体を低・高各2グループの4グループに分割



2年生活科
ポストにははてなが
いっぱい



6年社会科
一枚の絵から
江戸がよみがえった

第三セッション ... 第二セッション成果発表とディスカッション

まとめ ... 全体のまとめ・講評(金沢大・加藤先生)



4. 研修部員の役割分担

全体進行 高学年部 (北井)

グループセッション「ファシリテータ」...研修部員分担で

グループの
リード, とりまとめ,
盛り上げ役です!!

低学年 A	小倉・教頭
低学年 B	庄源・今井
高学年 A	能村・北井
高学年 B	正来・河村

5. 準備

付箋紙 ... グループディスカッション(ワークショップ)用
()

授業ビデオ ... NHK 教育「わくわく授業 ~わたしの教え方」より
(正来) <http://www.nhk.or.jp/wakuwaku/index.html>
低学年 2年生活「ポストにははてながいっぱい」
高学年 6年社会「一枚の絵から江戸がよみがえった」
2004年3月放映 有田和正氏授業

おまけ 授業ビデオ紹介

2年生活「ポストにははてながいっぱい」

元筑波大学附属小学校教諭で、「授業開発研究所」を主宰する有田和正先生（68）は、現役を退いた今も全国の学校から招かれて、「自ら調べる意欲をもった子、真に生きる力のある子」を育てる特別授業を行っている。有田先生の授業の特徴は、身近なものを題材に、それを徹底的に見つめなおし、そこから子どもたちに、たくさんの「はてな」を見つけさせることだ。

今回のテーマは、郵便ポスト。授業を受けるのは、愛知県碧南市立新川小学校の2年生たちだ。授業の始まり、自己紹介の挨拶ですっかり子どもたちの心を掴んだ先生は、一枚の紙でポストを作ってみようと呼びかける。

「投函口はどうなってる？」「手紙の取り出し口はどこにある？」「ポストはなぜ赤い？」など、先生はポストを作りながらたくみな話術で子どもを引きつけ、たくさんの「はてな」を引き出していく。ポストに関するたくさんの「はてな」が生まれたら、授業はそこで終わり。ここからは子どもたちと担任の先生に、次々にでてきた「はてな」をどうやって解決していくか考えてもらうのだ。こうして「はてな」を見つけて、知的好奇心を育んだ子どもたちは、実際に町に飛び出してポストを観察し郵便局をたずねて、次第に郵便の仕組みについても目を開いていく。

子どもの好奇心をくすぐり、「はてな」を楽しむ子どもを育てる有田先生の授業、その「教え方の秘密」をたっぷり紹介します。

6年社会「一枚の絵から江戸がよみがえった」

有田和正先生の特別授業の第二回目、今回は小学校6年生と一緒に江戸時代の歴史について調べます。先生が訪ねたのは千葉縣市川市立菅野小学校。

授業の始め、先生は1枚の大名行列の絵を黒板に貼ります。「この大名はどこの大名か？」「この行列の季節はいつか？」「どの道を通ったのか？」「どこに泊まったのか？」子ども達は絵から出てきた様々な謎について考えます。

子どもたちは有田先生の問いかけに答えようと、もちこんだ資料と首っ引き。答えが見つかってよし、もし見つからなくても、とにかく教科書や資料集に興味を持って開くことを習慣づけようと有田先生は、巧みに子どもたちを引き込みます。中には、国語辞典や高校の教科書まで持ち込む子どももいて、大名行列の掛け声など思いがけない発見もありました。

こうして子ども達は、様々な角度から江戸時代の事を学び、好奇心を高めていきます。

何にでも興味を持つと勉強は楽しくなる、そんな気持ちを自然に引出す、「面白がる心を育てる」有田先生の授業を紹介します。